

Jr.リーグ、今季初の引き分け 連勝記録、遂に途切れる



今季初の引き分けに肩を落とす駒大イレブン。後期も優勝するためにも、すぐに気持ちを切り替えたい (撮影・川崎篤彦)

【左上】右サイドで積極的に攻撃を仕掛けた湯川。「泥臭いプレーを増やしていきたい」と今後の課題を語った
【上】加藤とともに攻守で左サイドを支えた鳥井。フリーキックでアシストも記録

KOMAZAWA U1×1 SEIKETSU

2005年9月21日 成蹊大学グラウンド

Jr.リーグ後期・第2節

駒澤大学1 - 1 成蹊大学

【得点】()はアシスト

[駒]82分山下(鳥井)

[成]88分

GK 山内達夫 (76分→柴田俊介) /
DF 鳥井勇作、志田亮輔、奥野拓也
MF 湯川貴嗣 /MF 柳崎祥兵、加藤正樹、谷本修 (46分→浅野浩一)
FW 根本真吾 /FW 山下真太郎、高崎寛之 (33分→寛張真也)

基本フォーメーション



前半33分でピッチを退いてしまった高崎。前期で MVP でもあるエースの負傷退場は攻撃陣に大きな影響をあたえてしまった

不完全燃焼の引き分け「ちくしょう」何度もピッチに戻ろうとして負傷のためコーナーにとめられていた。その33分でグラウンドを出た高崎のとめたコーナーに対してなのかそれとも自分自身に対してかわからないがその叫びはこの試合での選手たちの心情のまさに象徴だった。

トップチームでやりたいという気持ちがある。怒涛の攻撃に表れていた。両サイドバックが果敢に上がり何度モクロスをゴール前に上げる。クリアされてもルーズボールを柳崎から中盤の選手が拾い、第2、第3の攻撃でゴールを襲う。しかし、相手GKのスーパーセーブなどもあり得点をなかなかあげられない。選手達に焦りの色が見えはじめた。起点となっていた高崎の抜けた影響も大きく、攻撃がうまく機能せず、0-0 終わると思われた82分、鳥井の左サイドからのFKを今

まで決定機をはずし続けた山下がようやく決め、先制。しかしその6分後、充分にチャンスがあったのににもかかわらずもののできなかった駒大をあげ笑つかのようにこの試合ほとんど攻撃が機能していなかった成蹊大が空中戦で競り勝ち、流れたボールを相手FWにGK柴田のわきを突くシュートを打たれ、数少ないチャンスをものたにされてしまう。課題は自分たちのペースの時、点をとらなければならぬ」と柳崎が語るように決定機を逃し続けたことにある。この問題の解決への道に近道はなく日々の練習で培っていくしかないだろう。そして、ゴール前で点を取ることが自分の仕事なので点を取らないといけない」という山下の言葉通り一人一人が自分の仕事を果たした時、今度のは怒りの叫びではなく歓喜の雄叫びを聞こえることになるだろう。(香取 真人)

発行人 伊藤優香
スタッフ 野澤俊介 山本麻紗子
遠藤雅之 川崎篤彦 深松美里
新井壽子 遠藤さくら 大川菜都美
香取真人 久保田内香 育藤卓也
境野文子 瀬戸邦明 永田義博
林 雄大 原田麻里

FORZA駒沢は毎週金曜日に発行！お便り、感想などはこちらまで
〒154 8525 東京都世田谷区駒澤1-23-1
駒澤大学マスコミ研究所内「駒大スポーツ・サッカー班」Eメール
forzakomazawa@hotmail.com
TEL/FAX 03(3418)9566 発行人 伊藤 優香

インディペンデンスリーグ
次節対戦・対RKU.U-22
日程 9月25日(日)14:00 - 青山学院大学グラウンドにて
競技場アクセス
・JR 横濱線「淵野辺」駅南口下車、共和回りの淵野辺駅南口バスで約15分。
Jr.リーグ次節対戦・対帝京大学
日程 9月28日(水) 駒大グラウンドにて
競技場アクセス
・東急田園都市線「二子玉川」駅下車、砧本村行きバスに乗り「砧本村」下車徒歩1分、または成城学園前駅行き「鎌田」下車徒歩5分

次節は流通経済大学と対戦!
<場所>川口青木町公園総合運動場
<日程>9月24日(日)14:10
競技場へのアクセス
JR「西川口」下車、東口1番乗り場より(西川 06)東川口駅南口行き、または(西川 07)東浦和行きバスに乗り、「青木公園」下車、徒歩3分。または駅より徒歩3分。